

2014年度（平成26年度）学員会年次支部協議会 事業計画案

2014年6月28日

中央大学学員会 年次支部協議会

代表幹事 松木 茂夫

今年度の事業計画案を下記の通りといたしたくご提案します。

今年度の執行部は、今年1月の規約改正により誕生した最初の執行部であります。

既にご承知のこと存じますが、規約改正前の年次支部協議会は当番幹事が1年毎の順送りで運営されており、当番幹事の引受手としては、若い年次支部にはかなりのハードルが高く、継続が難しくなっていました。そこで、諸先輩方の絶大なご協力とご理解・ご支援をいただき、2年前に順送りではなく、年次を超えて当番幹事や執行部役員を選出することに変更となりました。

特に執行部役員は、当番幹事一支部からではなく、世代を超えた支部から、幅広く推薦された方々との共同運営体制に代わり、運営の基本は全体責任となりました。従いまして、今年度は各委員会の委員長や副代表幹事の役割担当を明確化して、スムーズな運営ができるようにいたしました。

年次支部協議会活動を順調に軌道に乗せ、且つ、世代交代をスムーズに遂行できるようにする為、大先輩から中堅・若手の各年代の方々の、ご経験やお知恵を拝借しながら運営していきたいと思っておりますので是非ともご協力の程お願い申し上げます。

記

1. 委員会・部会等の事業計画案

(1) 学員交流委員会

(委員長 権守隆男・副委員長 佐藤愛子 : 担当副代表幹事 山井俊昭・乗兼浩明)

①若手年次支部との意見交換・交流会の検討・実施

(例 昭和50年代以降～2014年支部・平成年代相互間交流等々)

・予定 2014年8月31日(日) AM11:00～14:00頃 於: 駿河台記念館

②2015年3月卒業予定者の同期会年次支部結成への協力・支援(準会員向けへの対応)

③その他、機会をとらえての交流会の検討・実現に向けての具体的な方策の検討

(納涼屋形船・文化鑑賞・音楽鑑賞・スポーツ応援等・・・大学・学員会・各年次支部・地域支部・職域支部等との情報交換・連携を図りながら模索) 等々・・・

(2) IT化推進委員会

(委員長 兼 担当副代表幹事 小川 学)

①年次支部協議会のホームページは特に若年層及び準会員向けへの有効な情報伝達手段として、さらに充実を図る。

②会議資料・各種イベント案内等を適時掲示する

③各年次支部でホームページの無い支部への提案・制作・協力支援

④年次を跨ったホームページの検討・構築

⑤年次支部協議会メンバーに対する連絡網検討・構築

⑥広報活動はホームページと会報(2014/1/1 初刊号発行)とで連携を図り広報活動の充実を図る等々・・・

(3) 学生支援委員会

(委員長 秋山豊・副委員長 久保良太・担当副代表幹事 佐々木幸雄・鈴木康司)

- ①現役学生(準会員)・留学生への進路選択に寄与する支援活動(今年で10回目)
- ②今年度の就職を取り巻く環境の大きな変化を考慮すると、昨年までの9回の実績・経験を踏まえ、新たな課題をクリアして支援活動を充実させる。
- ③今回の特徴は
 - ・環境変化の跡を実施し本相談会のより良いあり方等の模索・実施
 - ・就職業界全般に精通した講師陣の派遣(数名程度)を検討・実施(今回初めて)
 - ・倫理憲章適用外の留学生向けの支援を個別の実施を検討(前回までは合同開催)
 - ・会場は集客力向上の為後楽園校舎を予定(2015年3月実施の為学生のいない多摩校舎ではなく又コスト面も考慮)
 - ・キャリアセンター・学生団体(Canvas+)・国際センターとの連携を図る

【ご参考】

- ①今年度は経団連の「選考基準に関する倫理憲章」により採用スケジュールが大きく変化する。
(現時点では、採用選考解禁予定は、会社説明会が3月1日～、面接等は4年生の8月～
(昨年度は4年生の4月)
- ②出身大学別イメージ調査結果(2014/6/16日経記事掲載)
 - ・企業の人事担当者が選ぶ大学総合ランキングには新聞報道ではあるが、残念ながら母校は20位以内には入っていない。・・・ブランド力向上の一助

(4) 中央大学支援委員会 (今年度新規施策)

(委員長・小田眞一・副代表幹事 青山和夫)

- ①中央大学のブランド力向上の為母校への支援活動を実施
 - ・箱根駅伝チームのバックアップ実施
 - ・留学生と日本人学生と自然な交流のバックアップ
 - ・中央大学の広報活動への協力 等等・・・

(5) 白門スポーツ応援団委員会

(委員長・応援団長 高橋丈雄)

- ①学員が連携してスポーツを応援し、学員同士が楽しく交流することで次の世代に連携の輪を広げていく。
 - ・大学学友会と連携し適時試合情報を収集して発信を行う。
(学生スポーツの対外試合応援：陸上部・硬式野球部・水泳部・ラグビー部・サッカー部等・・・)
 - ・学員時報(学員会)・年次支部協議会ホームページ(IT推進委員会)・年次支部協議会会報(広報部会)
 - ・本応援活動により年次支部の次の世代への連携の輪を広げる。等々・・・

(6) 広報部会

(広報部長 兼 副代表幹事 佐藤愛子・広報部副部長 小暮睦美:担当副代表幹事 堀合辰夫)

- ① 学員のネットワークの維持・拡大を図るため定期的に会報を発行し、ホームページの推進と共に、誰でも参加可能な年次支部への加入を促進し、年次支部協議会の広報活動を活性化させる。又学員時報とはパッシングしないオリジナル記事の掲載に努める。
- ② 年次・地域・職域等を超えて参加できるような、大学関連行事・支部活動の情報の提供と会報の情報により、各支部間の相互理解・世代間の連携・交流が深められ、年次支部協議会の存在認識や学員会活動を理解してもらえる PR 効果も図られる。
- ③ 準会員（現役学生）に対し、年次支部の加入促進を図るため、卒業時に年次支部協議会の会報を配布することにより大ネットワークの構築・拡大が図られる。
- ④ 発行回数 年間 2 回程度予定 (10 月・3 月頃) (創刊号は 2014/1/1 発刊)
- ⑤ 発行部数 10 月/1000 部 3 月/7000 部 (内準会員向 6000 部)
- ⑥ IT 推進委員会との連携により年次支部協議会ホームページへ掲載し特に若年層・準会員向けへの PR に努める。

(7) 大学・学員会行事・ホームシングデー（白門学員祭）への協力

(担当副代表幹事 掛水省三)

- ① 大学行事への積極的な協力 (テーマ: グローバルに広がる絆とネットワーク)
 - ・開催日 2014 年 10 月 26 日 (日) (昨年は台風により中止)
 - ・開催場所 中央大学多摩キャンパス
 - ・模擬店等出店協力支部の案内・募集
(昨年参加年次支部 8 支部: 30 年・39 年・42 年・44 年・48 年・53 年・58 年・平成 2 年)
 - ・申込期限 2014 年 7 月 11 日 (金)
 - ・申込先 中央大学学員ネットワーク課 (Tel 03-3219-6172 : Fax 03-3219-7428)

2. 会議等

(1) 年次支部協議会

- ・2014 年度は原則 上期・下期の年 2 回開催とする
(2013 年度は 5 回 4/13・6/25・8/31・1/25・3/29)
- ・上期 2014 年 6 月 28 日 (土) 16:30～ 議案: 事業計画案・予算案・その他
- ・下期 2015 年 1 月 24 日 (土) 16:30～ 議案: 上期の進捗状況・今後の予定・その他
- ・その他必要に応じて適時開催する。

(2) 執行部役員会 (執行部役員+各委員長)

- ・年次支部協議会開催日・事業計画の進捗状況把握の為随時開催。
- ・上期 2014 年 6 月 28 日 (土) 15:00～ 議案: 事業計画案・予算案・その他
- ・下期 2015 年 1 月 24 日 (土) 15:00～ 議案: 上期の進捗状況・今後の予定・その他
- ・その他必要に応じて随時開催する。

(3) 懇親会の開催

- ・年次支部協議会・執行部役員会開催日に参加者相互の親睦・交流を深めるため実施する。
- ・その他必要に応じて随時開催する。

【ご参考】

- ・学員会正副会長会議 開催 スケジュール (原則毎月第三木曜日)
- ・2014年度予定：4/17・5/16・6/19・7/17・9/18・10/16・11/20・12/18・1/22・2/19・3/19

以上

年次支部協議会出席者名簿 (平成26年6月28日)

年次支部協議会					懇親会			
年次	支部長	幹事長	副支部長等	支部協議会役員	支部長	幹事長	副支部長等	支部協議会役員
29	中村茂八郎		志邨 守夫				志邨 守夫	
30			加藤 段一				加藤 段一	
31		山口 隆	遠藤 喬介			山口 隆	遠藤 喬介	
32	岩瀬 順郊		吉野 実		岩瀬 順郊		吉野 実	
33	青山 和夫				青山 和夫			
34								
35		成清 治道	碓石 一彦			成清 治道	碓石 一彦	
36		石川 捷敏	船倉 敏彦			石川 捷敏	船倉 敏彦	
37	庭山 卓	川島 豊臣	慶野 弘子		庭山 卓		慶野 弘子	
38	松本 将男							
39	高橋 文雄			柳田 晋次 小竹 正倫	高橋 文雄			柳田 晋次 小竹 正倫
40	佐々木幸男		新井 孚		佐々木幸男		新井 孚	
41	宮田 永生		前田 祐輔					
42	小林 定寿	牧 教明		鈴木 康二	小林 定寿	牧 教明		鈴木 康二
43		(代)立岩 正義	荒木 雅基	正野 建樹		(代)立岩 正義		正野 建樹
44		小林 健一		松木 茂夫		小林 健一		松木 茂夫
45	相場 有二	山城 博光	竹谷 光子	室 勝弘 平岩 弘邦	相場 有二	山城 博光		室 勝弘
46	半澤 勉	遠藤 一義		増田 晃次郎 才野 智裕		遠藤 一義		増田 晃次郎
47								
48		佐藤 愛子		小田 眞一		佐藤 愛子		小田 眞一
49								
50	山井 俊昭	(代)大野善広	石川 賢次			(代)大野善広	石川 賢次	
51								
52								
53								
54	兼水 省三							
55								
57	浜田 英明				浜田 英明			
58	小暮 睦	(代)柳 幸季	内山 勢 竹田 佳世子		小暮 睦	(代)柳 幸季	内山 勢 竹田 佳世子	
59			田辺 幸紀					
元	竹内 恒雄	小川 学			小川 学			
2	山本 卓	清水 裕之			山本 卓	清水 裕之		
11		久保 良太						
計	17	15	15	10	11	12	11	8

2014年6月 28 日

2013 年度 学員会年次支部協議会 事業報告

中央大学学員会 年次支部協議会
事務局長 山 城 博 光

次の通り、2013年度の事業報告をいたします。

1. 実施された会議

開催日	事業	検討内容	備考
2013年4月13日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	①前期事業報告・今期事業計画案 ②前期決算・今期予算案	懇親会
2013年6月25日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	①今期事業計画(予算の確保)の検討②ホームカミングデー開催対応③年次支部の連携について	懇親会
2013年7月13日	若手意見交換会(昭和50年以降の支部役員)	①年次支部協議会の活動内容紹介 ②意見交換会	昼食会
2013年8月31日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	①各委員会から中間報告 ②学員会本部助成金申請について③箱根駅伝予選会応援について	懇親会:牧ひろし氏(49卒)出演
2014年1月25日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	① 会則の変更 ② 各委員会活動報告	懇親会:碓井哲雄氏(40年卒)講演
2014年3月29日	年次支部協議会、企画運営委員会、全体会議	① 2014年度執行部体制 ② 2013年度事業報告	懇親会

※執行部会議および執行部・委員長会議を適時開催

2. 委員会等、活動報告

(1) 学生支援委員会

2013年11月16日 第2回CHUO進路相談会を開催

(2) IT化推進委員会

- ①ホームページの開設
- ②ホームページのない年次支部に対し、制作協力を提案
- ③広報活動(ホームページのほかメーリングリストも活用)
 - ・会議資料を開示
 - ・各種案内を掲示、案内

(3) 学員交流委員会

- ①2013年7月13日 昭和50年以後～2013支部 意見交換会
- ②2013年11月～2014年1年 平成会員交流会の検討
- ③広報活動
IT化推進委員会と連携し、各種イベント等を案内

開催月	主なイベントや活動の紹介
2013年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本伝統文化国際交流会（白門46会鷺見氏、片男波親方、柳家小団治） ・中央大学管弦楽団定期演奏会 ・「ラグビー部宇野将史君を支援する会」の募金活動（白門46会矢次氏）
2013年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・白門グリークラブ定期演奏会
2013年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・白門38会 オペラ鑑賞会
2013年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・箱根駅伝予選会応援（予選突破） ・ホームカミングデー（雨天中止）
2013年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回CHUO進路相談会
2013年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・中央大学管弦楽団定期演奏会
2014年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・箱根駅伝応援（各支部）、選手激励会（後楽園飯店） ・白門38会 オペラ鑑賞会
2014年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・白門さぎそう演奏会（世田谷区支部）

(4) 年次支部協議会（総務部）

2014年1月 会報第1号を発行しました。

3. 報告事項

- (1) 年次支部協議会の活動に対し、CHUO進路相談会の開催（学生支援委員会）、年次支部協議会事務費用（通信費・封筒印刷代）について、委員会本部より実費相当額としてそれぞれ58万円、10万円の助成金が認められました。
- (2) メーリングリストやホームページの開設、会報第1号の発行により、伝達方法が多角化し、コミュニケーションも図れ、広報活動の骨子ができてきました。いずれも好評です。
- (3) 木下事務局長が4月1日付で、内部監査室長として多摩校舎に異動します。駅伝総監督にも就任されるとのことですので、今後、駅伝が楽しみになってきます。
また、後任の事務局長は、清野強（50年卒）さんです。

以上

年次支部協議会平成25年度収支決算監査報告

1. 収入の部

- (1) 年度会費納入協力27支部納入額。
- (2) 懇親会費は開催4回の参加者負担額。
- (3) その他の収入。
 - ①受取利息収入は普通預金上期、下期利息額。
 - ②模擬店売上はホームカミングデー中止のため発生せず。
 - ③留学生口座は資金統合による留学生口座預金残高の振り替え額。
- (4) 事業助成金は学生支援委員会実施事業・就職支援活動への学員会本部からの助成金

2. 支出の部

- (1) 会議会合費は懇親会費個人負担額と援助額。
- (2) 通信費は年次支部協議会、企画委員会、執行役員会等開催通知、年度会費納入依頼送料。
- (3) 印刷費は全体会議、企画委員会等の資料印刷代。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会資料保管ケースの購入費。
- (5) 手数料は、懇親会余興費、各種振り込み等の手数料。
- (6) 事業支援費
 - ①学員交流委員会は若年年次支部との懇談会開催費。
 - ②学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動実施費。
 - ③IT化推進委員会は未執行。
- (7) 広報活動費は年次支部協議会広報創刊号の発行費。

平成25年度年次支部協議会収支決算報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差額	科目	予算額	決算額	差額
年度会費	260,000	270,000	10,000	会議会合費	700,000	730,500	30,500
懇親会費	500,000	533,000	33,000	通信費	60,000	50,330	△ 9,670
その他の収入	200	413	213	印刷費	5,000	33,440	28,440
利息収入	200	413		消耗品費	30,000	1,258	△ 28,742
模擬店売上	0	0		手数料	1,000	2,915	1,915
留学生口座より	2,863,287	2,863,515	228	事業支援費	200,000	470,871	270,871
事業等助成金	0	680,000	680,000	学員交流委員会	50,000	29,900	△ 20,100
				学生支援委員会	100,000	440,971	340,971
				IT化推進委員会	50,000	0	△ 50,000
				中大ブランド	0	0	0
				広報活動費	0	222,200	222,200
小計	3,623,687	4,346,928	723,241	小計	996,000	1,511,514	515,514
前期繰越金	1,233,624	1,233,624	0	次期繰越金	3,861,311	4,069,038	207,727
合計	4,857,311	5,580,552	723,241	合計	4,857,311	5,580,552	723,241

次期繰越金

①普通預金 3,996,893

②現金 72,145

私は、平成26年4月18日駿河台記念館7階715号室において、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの、収支決算についての会計監査を実施した。
 会計監査は帳簿並びに関係書類を照合するなどの監査手続きを行った結果、収支計算書は適正に作成されている。

平成26年4月18日

年次支部協議会
会計監事

鈴木康二

年次支部協議会平成26年度予算編成について

1. 収入の部

- (1) 年度会費は過去5ヶ年間の平均で計上。
- (2) 懇親会費は参加者負担金を計上。(約3回分)
- (3) 事業活動助成金は事業支援費等に対する助成金(学生支援・広報活動)を見込んで計上。
- (4) その他の収入は、普通預金利息を計上、模擬店売上は不確定のため項目のみ計上した。

2. 支出の部

- (1) 会議会合費は会議実施経費および懇親会費(個人負担)と助成金を計上。
- (2) 通信費は年次支部協議会、執行役員会、全体会議等の開催通知送料他を計上。
- (3) 印刷費は会議等の資料および封筒の印刷代を計上。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会用封筒作成、事務局文具費等を計上。
- (5) 手数料は諸費用の支払い及び預金引出手数料等を計上。
- (6) 事業支援費
 - ① 交流委員会へは若年年次支部へ積極的な働きかけ(交流会費)を行うための経費として。
 - ② 学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動費として計上。
 - ③ IT化推進委員会へは年次支部協議会として全ての卒業年次支部とのネットワークの構築および、その情報化支援活動費として。
 - ④ 中大ブランド向上のための情報収集等。
- (6) 広報活動費は年次支部協議会会報の年2回発行(卒業生配付用含む)を予定し計上。

平成26年度年次支部協議会収支予算案

収入の部		支出の部	
年会費	270,000	会議会合費	600,000
懇親会費	400,000	通信費	60,000
事業活動助成金(学員会)	1,610,000	印刷費	40,000
(学生支援委員会)	810,000	消耗品費	10,000
(広報部会活動費)	700,000	手数料	5,000
(年2回発行予定)		事業活動支援費	1,960,000
(年次支部活動支援)	100,000	(学員交流委員会)	100,000
その他の収入	300	(IT化推進委員会)	100,000
利息収入	300	(学生支援委員会)	1,010,000
模擬店売上	0	(中央大学支援委員会)	50,000
		(白門スポーツ応援団委員会)	
		(広報部会活動費)	700,000
		(年2回発行予定)	
小計	2,280,300	小計	3,375,000
前期繰越金	4,069,038	次期繰越金	2,974,338
合計	6,349,338	合計	6,349,338

2014.6.28

会計幹事担当

平岩 弘邦

2014年6月28日

白門スポーツ応援団 2014年度事業計画

白門スポーツ応援団長 高橋 丈雄

1. 目的

学員が連携してスポーツ応援を行なうことにより、学員同士が楽しく交流することを目的とし、次の世代に連携の輪を広げていく。

2. 今年度計画

- ① 大学学友会と連携を行い、適時試合情報を収集し発信を行なう。
・ ・ ・ ・ I T化推進委員会、広報部会（会報）の協力を得る。
- ② 学員が結束し、共同で、または応援を分担し、学生スポーツの応援活動を行なう。
- ③ 各支部が単独で行っている応援活動に相乗りし、応援も行なう。
- ④ 学員同士が交流し懇親会も実施する。
- ⑤ 学生とも意見交換を行い、困っていることをヒアリングし、支援体制を検討する。
- ⑥ この応援活動により、年次支部の次の世代の連携の輪を広げる。

3. 主な応援予定 ・ ・ ・ あらゆる学生スポーツの対外試合

- ・ 硬式野球部・陸上競技部・水泳部・ラグビー部・バレーボール部
- ・ 準硬式野球部・バスケットボール部・サッカー部・ボート部・相撲部 等

4. 予算

現在、特に予定していませんが、必要により下期に申請します。

※ 対外試合予定表（学員時報2014年6月10日号抜粋）を添付しましたので、ご確認ください。応援をよろしく願いたします。

以上

（事務局：白門48会 小田）

2014年6月28日

中央大学支援委員会 2014年度事業計画

大学支援委員会委員長 小田 眞一

1. 目的

中央大学のブランドを向上させるため、あらゆる機会をとらえ、学員の皆さまとともに一致団結し、母校の支援活動を行う。

2. 今年度の事業計画

(1) 駅伝チームのバックアップを行う。(ブランド向上の第一歩)

① 目標・・・箱根駅伝予選会突破、本戦シード権獲得

② 支援計画

- ・ 医療的支援（故障者の早期回復、栄養）
- ・ 就職支援
- ・ 人間的成長、精神的強化、社会教育等の支援

③ 学員の元気の源に

(2) 留学生と日本人学生の自然な交流をバックアップする。

① 学生同士のイベントへの支援、協力、協働

② 学生の国際交流活動や海外白門支部の活動状況の掌握を行なう。

③ 来年度に向けて、グローバル化推進計画（来年度実行計画）を策定する。

(3) 中央大学の広報活動に積極的に寄与すること。

IT化推進委員会、広報部会（会報）との協力活動

3. 予算

現在予定していませんが、必要によって下期に申請します。

以上